書式第１２号（法第２８条関係）

令和５年度　事業報告書

令和５年４月１日から令和６年３月31日まで

特定非営利活動法人センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

1．事業の成果

A　環境教育の事業

A.1　環境教育プログラム研究開発・実践活動・発信活動

A.1.1 環境教育プログラムの研究開発

- 年間８回開催した環境学習体験会（プログラムづくりワークショップ）を軸に環境教育のプログラムづくりが進められた。内容は以下の通り。

2023年度のワークショップの主な内容					
月日	内容	場所	体験とプログラム教材開発	参加数	スタッフ
4月23日	第1回環境学習体験会	蓮根第二小学校	プログラム「そっとのぞいて見てみよう」の体験・ビオトープの保全活動	8	7
5月28日	第2回環境学習体験会	エコポリスセンター	プログラム「綿から糸を紡ごう」の体験・自然エネルギーを感じる自然体験づくり	7	6
6月25日	第3回環境学習体験会	エコポリスセンター	プログラム「風となかよし」の体験・自然エネルギーを感じる自然体験づくり	5	5
9月24日	第4回環境学習体験会	エコポリスセンター	プログラム「どんぐりコロコロお山はおおさわぎ」の体験・「食品ロスを減らそう」の検討	5	6
10月29日	第5回環境学習体験会	エコポリスセンター	プログラム「土のこびと」の体験・「食品ロスを減らそう」の体験活動づくり	7	5
12月3日	第6回環境学習体験会	エコポリスセンター	プログラム「水となかよし」の体験・「食品ロスを減らそう」の体験活動づくり	4	4
1月28日	第7回環境学習体験会	エコポリスセンター	「食品ロスを減らそう」の体験活動づくり（ワークシートづくり）	7	5
3月24日	第8回環境学習体験会	エコポリスセンター	「食品ロスを減らそう」のワークシート発表・プログラム「季節の自然で遊ぼう」の体験	21	4
				64	42

環境学習体験会では、既存の環境学習プログラムの紹介、自然エネルギーを使った体験活動づくり、食品ロスに関する体験活動づくりをワークショップ形式で実施した。計８回の活動に 106 人（うちスタッフ 42 人）が参加し、活発な議論が行われた。

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	**2023**
回数	-	-	-	-	-	-	-	7	8	6	8	7	6	9	9	9	**8**
参加者数	-	-	-	-	-	-	-	74	82	74	166	101	82	152	146	132	**106**
1回あたり	-	-	-	-	-	-	-	10.6	10.3	12.3	20.8	14.4	13.7	16.9	16.2	14.7	**13.3**

本活動を通じて「水となかよし（幼児編）」のアイデアを得て、研究会を経て実際の授業で用いる体験活動を作成することができた。また、「食品ロスを減らそう」のプログラムで用いる体験活動を検討した結果、事前ワーク用のワークシートを作成することとし、その検討と検証を行った。教材の洗練化や新たなプログラム案の検討の場としては引き続き広がりがみられたほか、ボランティアに初めて参加する他大学の学生や社会人にとっては参加しやすい活動となった。

- 継続して行っている環境学習プログラム研究会は、臨機応変に実施できるプログラム開発の場となっている。内容は以下の通り。

2023年度の研究会の主な内容				
月日	内容	場所	検討内容等	参加数
4月29日	第1回研究会	エコポリスセンター	年間計画の作成・「食品ロスを減らそう」検討	5
7月1日	第2回研究会	エコポリスセンター	「水となかよし（幼児編）」の検討	4
7月29日	第3回研究会	エコポリスセンター	「水となかよし（幼児編）」の検討	4
8月26日	第4回研究会	エコポリスセンター	「水となかよし（幼児編）」の検討	3
9月30日	第5回研究会	エコポリスセンター	新規プログラム検討	4
11月18日	第6回研究会	エコポリスセンター	新規プログラム検討	4
12月16日	第7回研究会	エコポリスセンター	周年記念冊子の作成に向けた検討	3
2月17日	第8回研究会	エコポリスセンター	周年記念冊子の作成に向けた検討・食料自給率に関するプログラムの検討	4
3月30日	第9回研究会	エコポリスセンター（オンライン併用）	次年度の年間計画の作成	5
				36

新規プログラム「水となかよし（幼児編）」の作成を進めたほか、ビオトープづくりのプログラムの体系化、周年記念冊子の作成準備等を進めた。本研究会での検討をもとに「ビオトープがつなぐ板橋の自然プロジェクト」を地球環境基金に申請し、2024年度より３年間で採択されるなど、今後の実践にもつなぐことができた。

計９回の活動に 38 人が参加した。今後、現役の教員などの参加が増える活動へと推移させていきたい。

- 保育園向けプログラム開発は、出張授業数の増加にあわせた洗練化が主となった。保育園で主に行っているプログラム及びプログラムと関連付けて実施するアクティビティは以下の通り。

		自然体験活動分野	食と暮らし分野	自然エネルギー分野（地球環境問題含む）
保育園幼稚園	プログラム	いも虫のたからぶくろ ※ はらっぱのかくれんぼ大会 ※ どんぐりコロコロ お山はおおさわぎ ※ 木の精キロリのひみつのいのり ※ 森と子どものひみつ作戦 ※ （木の表情ってどんなだろ） 花と葉っぱでファッションショー	大豆ってすごいぞ ※ 綿を育てよう 綿から人形を作ろう 土のこびと ※	風となかよし※ お日様となかよし※ （鏡で光を反射させよう） 水となかよし（幼児編）
	アクティビティ	キロリのおにごっこ コウモリとガ 落ち葉じゃんけん 音いくつ 同じものはどこにある		

※オリジナル紙芝居を利用した活動

自然エネルギー分野で小学校向けに実施している「水となかよし」の園児向けの活動への要望などが高まっていたなかで、環境学習体験会での大学生のアイデアをもとにプログラムづくりを進め、実際に授業を行った。

- 小中学校でのプログラム開発は、研究会でのプログラム検討が主となった。小中学校で行っているプログラムは以下の通り。

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>自然体験活動分野</th><th>食と暮らし分野</th><th>自然エネルギー分野（地球環境問題含む）</th></tr>
<tr><td rowspan="3">小学校</td><td>低</td><td>季節の自然で遊ぼう</td><td>コンポストをつくろう</td><td>風となかよし
お日様となかよし
（鏡で光を反射させよう）</td></tr>
<tr><td>中</td><td>好きな色はどこにある
そっとのぞいて見てみよう
学校の木を決めよう
ヤゴ救出大作戦
チョウを育てよう</td><td>大豆ってすごいぞ
学校産のとうふを作ろう
手前みそを作ろう
綿を育てよう
綿から糸を紡ごう
地球温暖化を知ろう</td><td>風となかよし
（風力発電機をつくろう）
お日さまとなかよし
水となかよし</td></tr>
<tr><td>高</td><td>わたしの木・ぼくの木
ビオトープをつくろう</td><td>食べものはどこから
ペットボトルの水
食品ロスを減らそう
プラスチックごみを減らそう</td><td>放射線から身体を守る生活の仕方
エネルギー源を考える</td></tr>
<tr><td colspan="2">中学校</td><td colspan="3">分野横断型プログラム
（まちづくり）住み続けたい板橋のまちを考えよう　50年後の板橋を考えよう
（キャリア教育）環境キャリアを考えよう</td></tr>
</table>

ビオトープづくりのプログラムの体系化に向けた話し合いや環境学習体験会を通した「食品ロスを減らそう」のワークシート作成などを進めることができた。

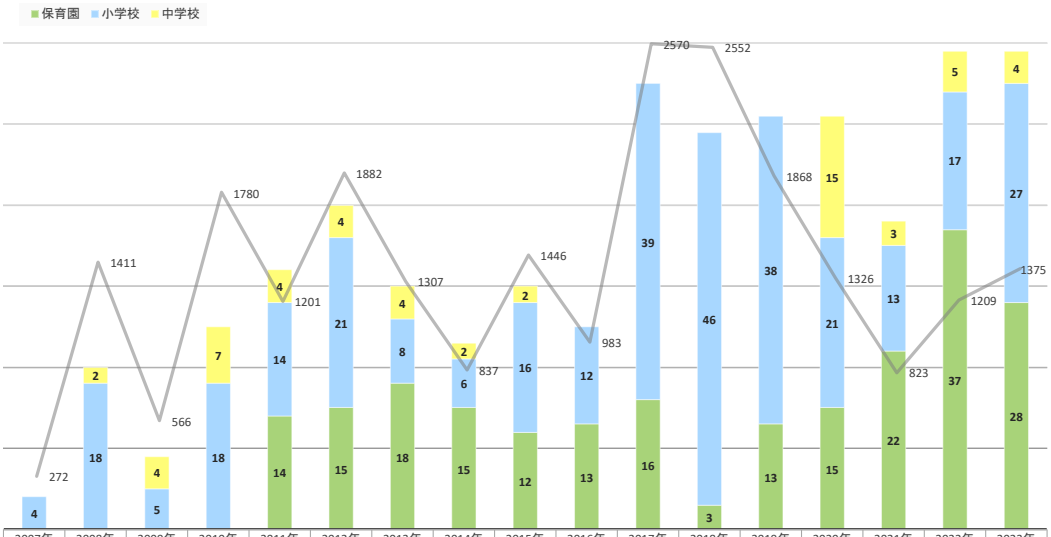
A.1.2 環境教育プログラムの発信活動

- プログラム実践の報告を中心に、8 月を除く年間 11 回のニュース発行を行った。板橋区内の全保育園・小中学校や教育委員会・各種報道関係など、毎月約 3,500 部を発送した。今年度から SOE ニュースを印刷業者へ発注し、カラー印刷へと移行した。より鮮明に活動の様子を伝えられるようになった一方で、費用面の課題が残っている。
- 2015 年に出版した「みんなワクワク どんどん使える センスオブアースの環境教育実践集」の販売に関しては課題が残った。
- HP 版プログラムバンクを適宜更新した。
- 環境教育プログラムに関して、昨年度の 3 月に発行した資料をもとに広報を進めた。

A.1.3環境教育プログラムの実践活動

- 33 の保育園・小学校・中学校で、年間 59 回（うち 2 回があいキッズ、2 回が部活動）の出張授業を実施した。1,375 人（うち　69 人があいキッズ、44 人が部活動）の園児・児童・生徒に環境教育の機会を提供することができた。この結果、これまでの累計で、 600 回の授業を実施し、その対象人数は 23,408 人となった。昨年度と比較し、回数は維持、人数は微増となった。

  2017 年度から始まったエコポリスセンターからの委託事業により、上記 59 件のうち 55 件がエコポリスセンターとの協働であった。

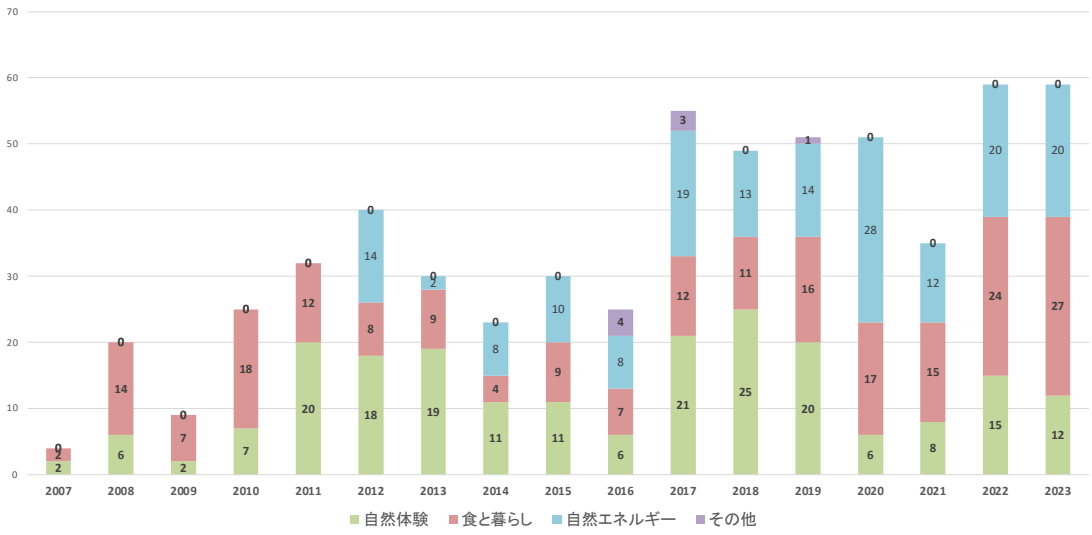


	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
中学校		2	4	7	4	4	4	2	2					15	3	5	4
小学校	4	18	5	18	14	21	8	6	16	12	39	46	38	21	13	17	27
保育園					14	15	18	15	12	13	16	3	13	15	22	37	28

プログラムの内訳では、食と暮らし分野の「大豆ってすごいぞ」「綿を育てよう」、大豆栽培後の「学校産のとうふを作ろう」など、タネから育てて作るプログラムが幅広く受け入れられる傾向が続いている。「食品ロスを減らそう」と合わせて、食と暮らし分野の実践が多い状態が続いている。

自然エネルギー分野（地球温暖化などの地球環境問題含む）では「風となかよし」が継続して人気な状況であるほか、保育園での「水となかよし（幼児編）」も増加の兆しを見せている。

一方、自然体験活動分野に関しては「どんぐりコロコロ お山はおおさわぎ」「木の精キロリの不思議な祈り」などの造形活動を伴う活動も多く、自然との親しみを深める自然観察の活動などは件数が少ない状況が継続している。



- 保育園・幼稚園（同年代を対象とした私立学校を含む）における取り組みは、19 園で計 28 回に及び、その対象者数は 474 人となった。保育園・幼稚園での実践の内訳は以下の通り。

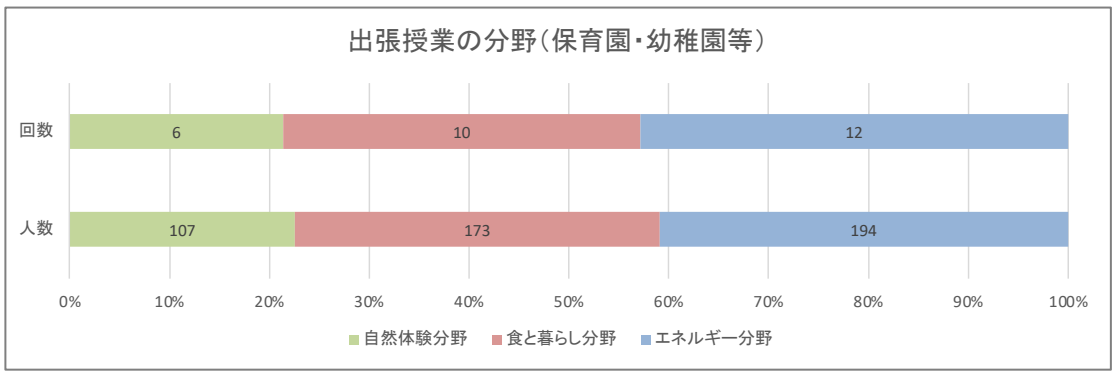
日付	保育園・幼稚園名	対象（人数）	プログラム名	備考
05月15日	ほっぺるランド成増	5歳児（12人）	綿を育てよう	
05月16日	サンシティ聖母幼稚園	年長組（41人）	綿を育てよう	
05月19日	キッズタウンむかいはら保育園	5歳児（18人）	綿を育てよう	
05月24日	板橋区立みなみ保育園	5歳児（13人）	綿を育てよう	
06月09日	板橋区立赤塚保育園	5歳児（16人）	風となかよし	
06月12日	ソラストときわ台保育園	5歳児（11人）	風となかよし	
06月14日	板橋区立若木保育園	5歳児（15人）	土の小人	
06月19日	旭保育園	5歳児（14人）	大豆ってすごいぞ	
06月21日	同援みどり保育園	5歳児（18人）	綿を育てよう	
06月28日	板橋区立若木保育園	3歳児（17人）	季節の自然で遊ぼう	
06月30日	星樂保育園	4歳児（23人）	風となかよし	
07月06日	やまと保育園	4・5歳児（35人）	風となかよし	
07月19日	板橋区立弥生保育園	5歳児（15人）	大豆ってすごいぞ	
08月04日	ほっぺるランド板橋小豆沢	5歳児（12人）	大豆ってすごいぞ（枝豆編）	
08月10日	ほっぺるランド板橋小豆沢	4歳児（12人）	風となかよし	
08月31日	板橋区立あさひが丘保育園	5歳児（15人）	水となかよし（幼児編）	
09月14日	ほっぺるランド成増	3・4歳児（14人）	お日さまとなかよし	
09月22日	あすなろ保育園	4歳児（15人）	いも虫のたからぶくろ	
09月28日	さくらさくみらい新板橋	4歳児（9人）	風となかよし	
10月05日	ほっぺるランド成増	5歳児（14人）	水となかよし（幼児編）	
10月13日	旭保育園	5歳児（15人）	好きな色はどこにある	
10月19日	ほっぺるランド成増	4歳児（11人）	風となかよし	
10月25日	若木保育園	5歳児（15人）	育てた綿で人形をつくろう	
10月27日	あすなろ保育園	5歳児（11人）	好きな色はどこにある	
11月02日	あすなろ保育園	5歳児（15人）	水となかよし（幼児編）	
11月29日	板橋区立板橋保育園	4・5歳児（26人）	木の精キロリの不思議な祈り	
03月12日	こぶし保育園	3・4歳児（23人）	木の表情ってどんなだろう	
03月22日	つつじ保育園	5歳児（19人）	風となかよし	卒業遠足

プログラムの内訳では、今年度も実施分野が多岐に渡った。

自然エネルギー分野の「風となかよし」が８回、新規に開発した「水となかよし（幼児編）」が３回、「お日さまとなかよし」が１回の合計 12 回の授業を実施した。

食と暮らし分野で「綿を育てよう」「大豆ってすごいぞ」の栽培に向けたプログラムと、綿を育てた後の「育てた綿で人形をつくろう」で合計９回の授業を行ったほか、堆肥づくりの活動である「土の小人」が１回、合計 10 回の授業を行なった。

自然体験活動分野に関しても、「いも虫のたからぶくろ」「好きな色はどこにある」といった自然と直に親しむ活動が３回のほか、「木の表情ってどんなだろ」が１回、「木の精キロりの不思議な祈り」が１回、合計５回の授業を行なった。



保育園・幼稚園等では、9 園（区立保育園 2 園・私立保育園 7 園）で新たな実践を行った。その結果、対象となった保育園・幼稚園は 19 園（区立保育園 6 園・公設民営保育園 1 園・私立保育園 12 園）であった。区立保育園（公設民営含む）・区立幼稚園全 40 園に対して、これまでの活動を総合すると、34 園で授業を実践しており、その広がりは約 83%に至っている。

相生	**赤塚**	**赤塚新町**	**あさひが丘**	**板橋**	大谷口
かないくぼ	**上板橋**	**紅梅**	**小桜**	**さかうえ**	**坂下三丁目**
志村橋	**新河岸**	高島平あやめ	**高島平くるみ**	**高島平けやき**	高島平さつき
高島平すみれ	**高島平つくし**	**高島平つぼみ**	**高島平もみじ**	**東新**	**ときわ台**
中板橋	**西台**	**西前野**	**蓮根**	**緑が丘**	**みなみ**
南前野	**向台**	**向原**	**弥生**	**ゆりの木**	**若木**
こぶし	にりんそう	**高島幼稚園**	新河岸幼稚園		

2023年度 実施	**2023年度 新規開拓**	**過去の実施**

※ 2023年度実施の旭保育園・あすなろ保育園・キッズタウンむかいはら保育園・さくらさくみらい新板橋・サンシティ聖母保育園・つつじ保育園・星楽保育園・ソラストときわ台保育園・同援みどり保育園・ほっぺるランド成増・ほっぺるランド板橋小豆沢・やまと保育園は私立保育園（下線は新規開拓園）
※ 過去実施の ひまわりキッズガーデン城山・ひまわりキッズガーデン大原・栄町保育園・志村さかした保育園・麦の子保育園・大山西町保育園・仲宿保育園・ほっぺるランド大谷口・さくらさくみらい中板橋・ソラスト成増保育園・第二たつのこ保育園・明日葉保育園 蓮根園・さくらさくみらい本町・白鳩保育園・さくら保育園は私立保育園、きよみ幼稚園は私立幼稚園、東京日仏国際学園は同年代を対象とした北区内の私立学校
※ 板橋区立板橋保育園は2024年4月より民営化されているが、2023年度までは区立保育園として扱う。

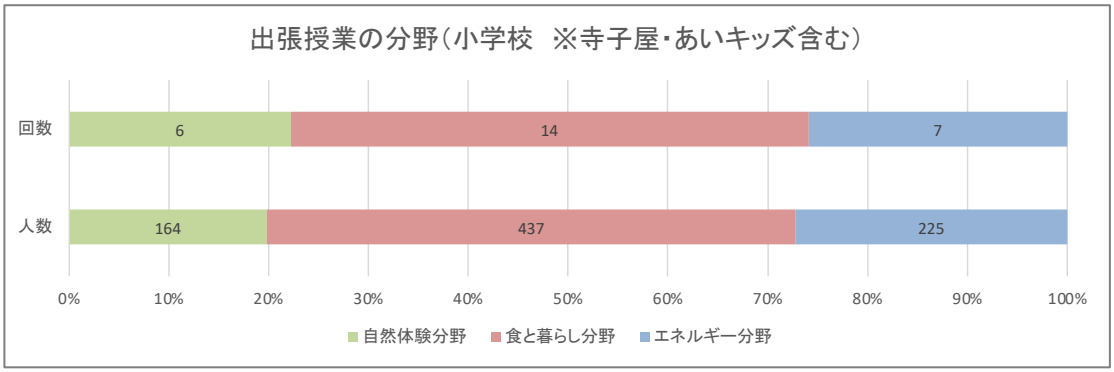
- 小学校における取り組みは、11 校で計 27 回（うち 2 回があいキッズ）に及び、その対象者数は 826 人（うち 69 人があいキッズ）となった。今年度は寺子屋での指導はなかった。小学校での実践の内訳は以下の通り。

日付	学校名	対象（人数）	プログラム名	備考
06月16日	板橋区立志村第三小学校	5年1組（38人）	大豆ってすごいぞ	
06月20日	板橋区立志村第三小学校	5年2組（35人）	大豆ってすごいぞ	
06月23日	板橋区立高島第五小学校	4年1組（32人）	食品ロスを減らそう	
07月04日	板橋区立志村第三小学校	5年2組（39人）	綿を育てよう	
07月05日	板橋区立板橋第二小学校	2年1組（29人）	木の表情ってどんなだろう	
07月11日	板橋区立赤塚小学校	3年1組（35人）	風となかよし（風力発電機をつくろう）	
07月11日	板橋区立赤塚小学校	3年3組（34人）	風となかよし（風力発電機をつくろう）	
07月12日	板橋区立赤塚小学校	3年2組（34人）	風となかよし（風力発電機をつくろう）	
07月13日	板橋区立志村第三小学校	5年1組（34人）	綿を育てよう	
08月25日	板橋区立前野小学校 あいキッズ	当日参加者（14人）	どんぐりコロコロ お山はおおさわぎ	
09月29日	板橋区立板橋第一小学校	3年1組（28人）	学校産のとうふをつくろう	
10月06日	板橋区立板橋第一小学校	3年2組（27人）	学校産のとうふをつくろう	
10月10日	板橋区立板橋第一小学校	3年3組（26人）	学校産のとうふをつくろう	
10月12日	板橋区立板橋第二小学校	1年1組（17人）	季節の自然で遊ぼう	
10月18日	板橋区立富士見台小学校	5年2組（30人）	食品ロスを減らそう	
10月18日	板橋区立富士見台小学校	5年1組（30人）	食品ロスを減らそう	
11月14日	板橋区立板橋第七小学校	3年1組（24人）	学校産のとうふをつくろう	
11月16日	板橋区立板橋第七小学校	3年2組（24人）	学校産のとうふをつくろう	
12月01日	板橋区立北野小学校 あいキッズ	当日参加者（55人）	どんぐりコロコロ お山はおおさわぎ	
01月10日	板橋区立富士見台小学校	1年2組（32人）	風となかよし	
01月11日	板橋区立富士見台小学校	1年1組（35人）	風となかよし	

01月16日	板橋区立高島第三小学校	1年1組（29人）	風となかよし
01月18日	板橋区立高島第三小学校	1年2組（26人）	風となかよし
02月15日	板橋区立志村第三小学校	5年1組（36人）	学校産のとうふをつくろう
02月20日	板橋区立志村第三小学校	5年2組（34人）	学校産のとうふをつくろう
03月05日	板橋区立板橋第六小学校	4年1組（26人）	学校の木を決めよう
03月07日	板橋区立板橋第六小学校	4年2組（23人）	学校の木を決めよう

プログラムの内訳では、食と暮らし分野で「綿を育てよう」「大豆ってすごいぞ」を各２回のほか、栽培した大豆を使った「学校産のとうふをつくろう」の授業を７回行った。その他、「食品ロスを減らそう」を３回実施し、合計 14 回の授業を実施した。

　そのほか、自然エネルギー分野では「風となかよし」が風力発電機を作る授業も含めてで合計７回、自然体験活動分野では「学校の木を決めよう」が２回、「木の表情ってどんなだろ」が１回と木との親しみを深める活動が半分を占め、残りは「季節の自然で遊ぼう」が１回と、あいキッズでの「どんぐりコロコロお山はおおさわぎ」が２回で、合計６回の授業を実施した。



小学校では、今年度新しい学校での実践はなく、対象となった小学校は計９校（板橋区内９校、あいキッズ２校を除く）であった。区内小学校に関して、これまでの活動を総合すると、46 校で授業を実践しており、その広がりは約 88%に至っている。

志村	**志村第一**	**志村第二**	**志村第三**	**志村第四**	**志村第五**
志村第六	**前野**	**中台**	**舟渡**	**新河岸**	**富士見台**
蓮根	**蓮根第二**	**志村坂下**	**北前野**	**緑**	**若木**
板橋第一	**板橋第二**	板橋第四	板橋第五	**板橋第六**	**板橋第七**
板橋第八	板橋第十	**金沢**	中根橋	**加賀**	**上板橋**
上板橋第二	**上板橋第四**	**常盤台**	**桜川**	**弥生**	大谷口
向原	**赤塚**	**成増**	**赤塚新町**	**紅梅**	**北野**
成増ヶ丘	**下赤塚**	**徳丸**	**三園**	**高島第一**	**高島第二**
高島第三	**高島第五**	**高島第六**	**天津わかしお**		

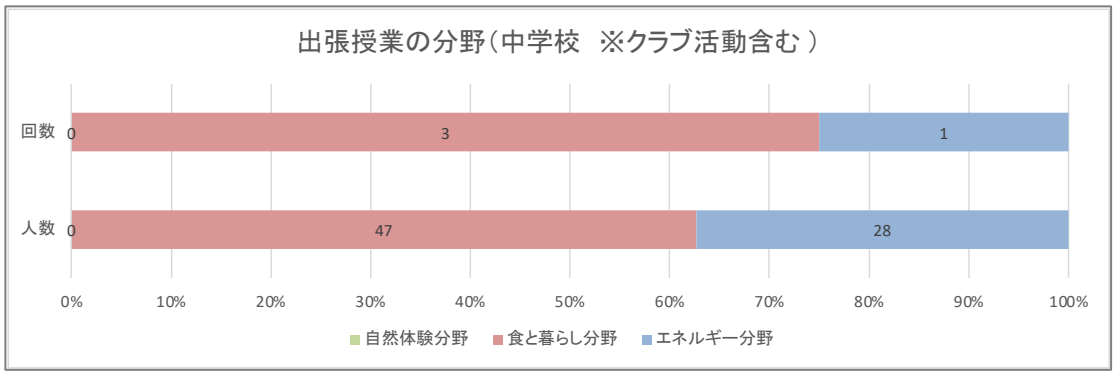
2023年度 実施	**2023年度 新規開拓**	**過去の実施**

※ 2022年度実施の 前野小学校・北野小学校はあいキッズでの実践のため除外している。

- 中学校における取り組みは、2 校で計 4 回（うち 2 回が部活動）に及び、その対象者数は 75 人（うち 44 人が部活動）となった。中学校での実践の内訳は以下の通り。

日付	中学校名	対象（人数）	プログラム名	備考
05月16日	板橋区立西台中学校	環境科学部（28人）	水となかよし	
05月26日	板橋区立高島第一中学校	特別支援学級（17人）	大豆ってすごいぞ	
12月07日	板橋区立高島第一中学校	特別支援学級（14人）	食品ロスを減らそう	
02月13日	板橋区立西台中学校	環境科学部（16人）	食べ物はどこから	

プログラムの内訳は、特別支援学級を対象とした「水となかよし」「大豆ってすごいぞ」で各 1 回のほか、部活動での「食品ロスを減らそう」「食べ物はどこから」各 1 回で、学級・部活動の担任・生徒の要望に合わせたプログラム実践となった。



- 高等学校では、本年度、出張授業の取り組みは行わなかった。
- これらは、SOE のメンバーが中心になりながら、ボランティアに支えられて成り立っている。今年度は 59 回の活動で、延べ 242 人が参加した。1 回あたりの参加者は 4.1 人で、昨年と比べ増加した。

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	**2023**
回数	5	23	10	28	34	41	31	23	30	20	55	49	51	51	38	56	**59**
スタッフ数	-	-	54	130	147	179	98	73	88	53	206	183	203	194	119	208	**242**
1回あたり	-	7.4？	5.4	4.6	4.3	4.4	3.2	3.2	2.9	2.7	3.7	3.7	4.0	3.8	3.1	3.7	**4.1**

A.2　環境教育指導者（主体）養成事業

A.2.1 環境教育ボランティア・インターンシップ

- ボランティアの募集に向けて、ボランティア募集サイト Activo の有償版を利用し、36 名のインターネット上での申し込みがあり、うち 13 名が実際の活動に参加した。WEB サービスを活用した数値のため、初回参加者の参加の比率についての評価は難しいが、より利用者のニーズに即した対応を心がけていく。また、継続参加に繋がる働きかけ、参加したボランティアスタッフの学びの機会の提供などにも力を入れていく必要がある。

	2023年									2024年			集計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
応募数	2	6	3	7	1	4	2	1	2	3	2	3	36	100.0%
初回参加者数	1	3	0	4		3					1	1	13	36.1%
（うち複数回参加者数）		1		2		1					1	1	6	16.7%

A.2.2 地域主体の支援（プログラムの共同開発ほか）

- 大学のゼミ活動など、環境教育の地域における担い手を育成する事業を継続している。

A.2.3 教員養成・教員向けの講座

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

A.3　環境教育協働推進事業（環境教育ネットワーク構築活動）

A.3.1 環境教育協働実践

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

A.3.2 プログラムの共同開発

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

B　環境保全の事業

B.1　自然環境保全活動

B.1.1 ビオトープ保全活動

- 蓮根第二小学校のビオトープについて、引き続き、定例の保全活動に参加した。
- その他複数の小学校からも学校ビオトープの改修等についての相談を受け、状況に応じて視察及び改修等に向けた提案を行った。

B.1.2 ごみ拾い活動

- 全国一斉水質検査に関して、今年度は該当の活動を実施しなかった。

B.1.3 緑地の保全・拡張に向けた活動

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

B.2　地産地消推進活動

B.2.1 栽培活動

- 柳が中心に大豆・棉の栽培を進め、収穫物を出張授業・イベントへと活用した。

B.3　自然エネルギー推進活動

B.3.1 自然エネルギー普及活動

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

C　社会教育の事業

C.1　エコツアー事業

C.1.1 沖縄・備瀬エコツアー

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

C.1.2 三宅島エコツアー

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

C.2　自然観察会・各種環境講座

C.2.1 自然観察会

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

C.2.2 環境講座

- 2 月 3 日開催の「いたばし ECO フェスタ 2024～ユース環境活動発表会～」の実施に向け、サポーター会議の当日のイベントの運営を支援した。
- 【3.11 から未来をひらく会】の今後の方向性を検討する会議に参加した。

C.3　講師派遣による環境教育プログラム実践

C.3.1 児童館における環境教育プログラム実践

- 板橋区立はすのみ児童館において 3 回の親子向け講座を開催した。6 月 8 日の「綿を育てよう」に親子 24 人、9 月 26 日の「土の小人」に親子 14 人、12 月 4 日の「木の精キロリの不思議な祈り」に親子 15 人が参加した。これらは、いずれもエコポリスセンターとの協働事業における地域エコロジーの枠組みで実施した。

C.3.2 社会教育施設等における環境教育プログラム実践

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

C.3.3 その他団体等における環境教育プログラム実践

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

C.4 各種イベント出展

C.4.1 イベント向けプログラム研究開発

- イベントのテーマや環境などを踏まえ、随時プログラムの準備を進めた。

C.4.2 外部イベント出展

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

C.4.3 板橋区協働イベント出展

- 5 月 14 日に板橋区（緑と公園課）主催のグリーンフェスタに出展。「風となかよし」のかざぐるま作りの体験のほか、メインステージにて「いも虫のたからぶくろ」の活動を行なった。
- 7 月 30 日にエコポリスセンターが主催する夏休みエコスクールに出展。「風となかよし～紙のかざぐるまで発電ができるかな～」というタイトルで、かざぐるま作りと風力発電機作りを実施し、10 人が参加した。
- 2 月に環境なんでも見本市に出展。紹介文や活動写真、紙芝居を紹介した。

C.5 板橋区指定管理者受託

C.5.1 板橋区立ボローニャこども絵本館管理業務委託

- 平成 30 年度をもって、委託事業は終了となった。

D まちづくりの事業

D.1 地域団体連携事業

D.1.1 地域環境団体との連携事業

- 板橋区を中心とした範囲で活動する環境団体との連携を進めるべく検討を行っている。

E 福祉の事業

E.1 福祉団体連携事業

E.1.1 地域福祉団体との連携事業

- 板橋区を中心とした範囲にある福祉団体と環境の分野での連携を進めるべく検討を行った。

F 学術・文化・芸術又はスポーツの振興事業

F.1 文化団体連携事業

F.1.1 地域文化団体との連携事業

- 板橋区を中心とした範囲で活動する文化団体やスポーツ団体との連携により、文化・スポーツと環境問題とのつながりを周知する活動を検討している。

G 団体運営業務

G.1 組織運営

G.1.1 一般管理

- 5 月に 2023 年度の年次総会を開催。活動報告・会計報告・活動方針・会計方針について報告し承認を得た。

G.1.2 理事・事務局関連

- 運営体制の強化に向けて、ニュース発行日に合わせて、月 1 回の頻度で理事会を開催した。理事を中心としたイベントの運営体制の確立や 20 周年に向けた活動の計画などを議論した。
- 事務局では、活動報告・会計報告に関して、書類を整理し報告にあたる。その他、運営・経理・広報などの事務局業務を随時行う。

G.1.3 会員関連

- 会員の呼びかけを進め、正会員数は 28 人、賛助会員数は 2 人となった。

G.1.4 記念活動

- SOE ニュース 200 号の発行並びに 2024 年度に迎える設立 20 周年に向け、記念活動実施に向けた方向性を確認した。記念出版と周年記念イベントの開催を行うこととし、具体的な内容については、理事会で検討を進めている。

G.2 経理関係

G.2.1 一般会計

- NPO 法人会計基準協議会の定める NPO 法人会計基準に基づいた会計処理を実施した。

G.2.2 助成金・コンクール等申請関連

- 2024 年度に向けた助成金を 2 件申請した。そのうち地球環境基金の広げる助成に申請した「ビオトープがつなぐ板橋の自然プロジェクト」が採択され、次年度以降の事業展開へと繋げていくとなった。

G.3 広報関連

G.3.1 一般広報

- センスオブアースの活動紹介資料を随時改定した。
- 2022 年 9 月よりイベント情報、ボランティア情報、SOE ニュースの PDF データをなどを送付するメールニュースの配信を開始した。今後登録者数の増やし、リード層であるニュース読者の拡大を目指していく。
- ニュース発送作業を兼ねた定例のワークショップも継続的に実施した。11 回の活動で、延べ 75 人の参加があった。1 回あたりの参加者は 6.8 人となり、昨年の 7.1 人から減少した。

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	**2023**
回数	-	-	17	14	18	22	22	17	13	13	11	11	11	9	10	11	**11**
スタッフ数	-	-	134	85	91	115	108	98	88	73	68	63	74	55	65	78	**75**
1回あたり	-	-	7.9	6.1	5.1	5.2	4.9	5.8	6.8	5.6	6.2	5.7	6.7	6.1	6.5	7.1	**6.8**

G.3.2 ホームページ関連

- オフィシャルサイトを定期的に更新し、イベントの案内や団体の周知を進めた。
- 特設ページ「SOE プログラムバンク」では環境教育のプログラムや資料などを発信した。
- Facebook ページに関しても、随時更新した。

G.4 渉外関連

G.4.1 協働推進関係

- 2017 年度からのエコポリスセンターの指定管理者変更を受けて、新管理者の板橋エコみらいプロジェクトの担当者と環境教育の協働や運営に関する意見交換を行う。計 4 回行い、速やかで発展性のある協働での出張授業のスタイルを作り上げることができた。